

患者の皆様へ

2015年9月17日

婦人科

現在、婦人科では、「多嚢胞性卵巣症候群を合併した若年子宮体癌患者」に関する研究を行っています。今後の治療に役立てることを目的に、この研究では若年子宮体癌の患者さんの診療情報などを利用させていただきます。診療情報などがこの研究で何のために、どのように使われているのかについて詳しく知りたい方は、下記の窓口にご連絡ください。

1. 研究課題名 「多嚢胞性卵巣症候群を合併した若年子宮体癌患者の調査研究」

2. 研究の意義・目的 「多嚢胞性卵巣症候群が子宮体癌の予後に影響を与えているかを調べる」

3. 研究の方法 2009年から2014年までに治療を開始された若年子宮体癌患者さんの診療録に記載されている既往歴、家族歴、血液検査値、画像所見などから患者背景と治療予後の関連を調べる

4. 個人情報の取り扱いについて

本研究で得られた個人情報は、外部に洩れることのないように厳重に管理します。研究成果の発表にあたっては、患者さんの氏名などは一切公表しないこととします。データ等は、千葉大学大学院医学研究院生殖医学教室の鍵のかかる棚で保管します。

5. 研究に診療情報などを利用して欲しくない場合について

ご協力頂けない場合には、原則として結果の公開前であれば情報の削除などの対応をしますので、下記の窓口にご遠慮なくお申し出ください。

文部科学省、厚生労働省が定める「人を対象とする医学系研究に関する倫理指針」に基づいて掲示を行っています。

研究実施機関 : 千葉大学医学部附属病院婦人科

本件のお問合せ先 : 医学部附属病院婦人科

医師 植原 貴史

043 (222) 7171 内線6893 (婦人科受付)